

PSA 検査と前立腺針生検

-一般的な流れと、先進医療を用いた検査についてのご案内-

前立腺は、男性のみにある膀胱の下にある臓器です。前立腺癌はその前立腺に発生し、罹患数は年々増加し、日本の 2018 年に診断された前立腺癌の方は 92021 人となっており、男性がかかる癌の種類として第一位となっています。癌の確定診断のためには針を刺して細胞を採取する検査（針生検）が必須です。

早期発見のため、採血検査で PSA 値（前立腺から分泌されるたんぱく質の血中の値）測定が推奨され、“前立腺癌検診ガイドライン 2018 年版“においては 50 歳以上の男性に対する PSA 検査が勧められています。PSA 値が 4.0ng/ml 以上の場合は泌尿器科の受診・精密検査が勧められます。

受診後の一般的な流れは、前立腺の画像検査（MRI：核磁気共鳴画像）を行い、検査で疑わしい場合は、確定診断のため前立腺針生検を実施します。

当院では、前立腺針生検（直腸に検査機器を挿入し前立腺から 10 か所以上から組織を採取が推奨：当院では主に 16 本程度）を従来法として一泊二日の入院で実施しています。

【前立腺癌のある場所をより正確に診断する最新画像処理を用いた前立腺生検（先進医療）】

当院は BioJet®システムを導入し、先進医療である MRI 画像と経直腸画像の融合画像を用いた前立腺生検（MRI 撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法）も従来法と並行して実施しています。

この新しい生検では、癌の疑いがある場所へ正確に検査の針を当てることが可能です。MRI の画像と直腸のエコー画像を用いて 3D 画像を構築することで、より立体的に前立腺をとらえてピンポイントな正確に生検が可能となり、癌検出率の向上や、従来法では検査針の誘導が難しい場所の診断も可能になることが期待されます。

従来法と比べて、入院期間・費用が異なるため検査を希望される場合は外来でご相談ください。

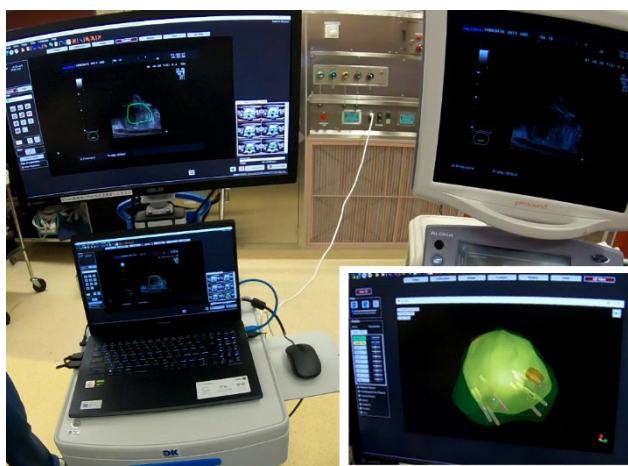


図 BioJet®システムと、構築された前立腺の 3D モデル